



祝 郡山市農業賞・郡山市農業奨励賞受賞



▲写真左から、品川萬里郡山市長、小林正一郎様、福島さくら農業協同組合郡山地区女性部部长橋本孝子様、同副部长遠藤信子様、佐藤政喜郡山市議会議長

【郡山市農業賞】 小林 正一郎 様

【郡山市農業奨励賞】 福島さくら農業協同組合 郡山地区女性部 様

平成31年1月15日(火)に、郡山市役所特別会議室において平成30年度郡山市農業賞・郡山市農業奨励賞表彰式が開催されました。

本市農林水産業の発展等に意欲的に取組み、顕著な業績をあげていると認められる個人又は団体に授与される「郡山市農業賞」は、片平町の小林正一郎様が受賞されました。

小林様は、長年にわたり地域農業の中心的な担い手として御活躍されており、近年では水稻栽培における農業経営サポートシステムや施設栽培における環境制御技術の導入などICTを取り入れた先進的な農業経営に取組まれ本市農業の近代化に寄与されております。また、本市農業委員、及び福島県指導農業士としても御尽力され、地域貢献活動にも熱心に取り組まれております。

また、本市において先進的な取組みを実施、又は農林水産業の発展に貢献のあった個人又は団体に授与される「郡山市農業奨励賞」は、福島さくら農業協同組合 郡山地区女性部の皆様が受賞されました。JA直売所を拠点に地元農産物を使用したご飯用副菜の提案・普及活動を行いながら、郡山産米「あさか舞」の消費拡大と周知活動に継続的に取り組まれるなど、本市農業の発展に寄与されました。

各受賞者は表彰後、取組事例発表としてこれまでの営農及び活動内容の紹介を行いました。

「就農したいけど、栽培の知識が全然ない…」

「トマトや花きの育て方を知りたい」そんな悩みを持つあなた、
園芸振興センターへご相談ください！

● 栽培指導講習会・見学会を開催します

園芸振興センター ☎957-2880

● 野菜栽培指導講習会

内容 トマトを中心とした栽培実習、講習

日程 4月23日(火)、5月17日(金)、6月18日(火)、7月17日(水)
8月20日(火)、9月18日(水) (全6回)

● 花き栽培指導講習会

内容 トルコギキョウを中心とした講習、実習

日程 4月25日(木)、5月15日(水)、6月19日(水)、7月18日(木)
8月1日(木) (全5回)

● 見学会

内容 栽培状況見学、栽培に関する相談の受付

日程 6月25日(火)、6月27日(木)



▲野菜栽培指導講習会(トマト)



▲花き栽培指導講習会(トルコギキョウ)

*開催時間は、栽培指導講習会は午前10時から正午まで、見学会は午前10時から午後3時までを予定しています。

*栽培指導講習会参加希望の方は、4月18日(木)までに、園芸振興センターへ電話でお申し込みください。

● こおりやま園芸カレッジ(新規就農研修)

園芸振興センター ☎957-2880

1年を通じて園芸作物での就農に必要な技術を学びます。

対象者 園芸で郡山市内に就農する18歳以上60歳以下の方

研修内容 野菜、花き栽培技術研修(播種から出荷まで)
農業機械に関する講習、農業経営に関する講習等

受講料 無料

定員 3名程度

*平成30年度は2名の方が研修しました。

*なお、平成31年度の募集は終了しました。詳しくはお問い合わせください。



▲露地ほ場作業



▲かん水チューブ
設置作業



▲トマト苗定植作業

● 農作業を支援する「アグリサポーター」をご活用ください

園芸振興センター ☎957-2880

園芸振興センターでは、「アグリサポーター育成講座」を開催し、農作業を支援する人材を育成しております。

当講座の修了生は農作業の基礎的な技術を習得しておりますので、繁忙期等に支援が必要な方はぜひご活用ください。



▲[果樹コース] ナシの摘果



▲[野菜・花きコース] トマトの収穫



**野焼きは
原則禁止です！**

野焼き等は、原則禁止されています。農作業によりやむを得ず実施する場合は消防署に届け出て、火災にならないよう十分注意して行いましょう。また、火が消えたことを確認するまでは、その場を離れないでください。

園芸畜産振興課 ☎924-3761

農産加工に挑戦したい！農地を貸したい！
コマゴマしたほ場を整備したい！牛を誰かに預かってほしい！
そんな想いを持つあなた、ぜひ一度ご相談ください！



農産加工研修の受講者募集

園芸畜産振興課 ☎924-3761

- 会場** 郡山市農産加工センター(郡山市逢瀬町多田野字南原17)
対象 全4回(8・9・11・1月予定)の講座を全て受講し、指導者認定会に参加できる方
定員 15名(定員になり次第締め切り)
内容 郡山市農産加工センターの機械操作及び基礎的な加工技術の習得
受講料 無料(材料費は自己負担となります。)
申込 5月7日(火)から5月24日(金)までに、住所、氏名、電話番号を記入し、郵送又はFAXにてお申込下さい。
 (あて先)〒963-8601 郡山市農林部園芸畜産振興課 FAX938-3150



農地中間管理事業を活用しよう

農業政策課 ☎924-2201

農地中間管理事業は、農地バンク(農地中間管理機構)が農業をリタイヤしたい方や経営規模を縮小したい方から農地を一旦借り受け、規模拡大したい担い手に転貸する制度です。

地域の話し合いに基づく、人・農地プランとセットで取り組むことで、効率的な農地の集積・集約化を図ります。

貸借の手続きが簡単で、賃借料の支払い手続きは(金納の場合)農地中間管理機構が行います。公的機関ですので安心です。

農地を貸したい、農地を借りたい方はご相談ください。



農地の基盤整備事業について

農地課 ☎924-3921

基盤整備事業は、ほ場の大区画化や農業用排水路、農道等の整備により、効率的で生産性の高いほ場を造成し、農業生産性の向上を図りながら、農業担い手への集積を推進します。

事業計画に際し、必要な採択条件については(地権者の同意、担い手への集積、地元の費用負担割合など)農地課へお問合せください。

<イメージ>



(出典:農林水産省ホームページより)



堆肥マップをご活用ください

園芸畜産振興課 ☎924-3761

畜産農家と連携して良質な堆肥を提供するため、「郡山市堆肥マップ」を作成しました。

良質な堆肥は、作物に養分を供給するだけでなく、地力の向上に効果がありますので、ぜひご活用ください。

▼市ウェブサイトの掲載先

https://www.city.koriyama.lg.jp/sangyo_business/nogyo_ringyo/10133.html



郡山石筵ふれあい牧場預託放牧事業をご活用ください 郡山石筵ふれあい牧場 ☎984-1000

飼養管理の労力及び費用の軽減を図り、地域畜産農家の経営安定化に寄与するため、郡山石筵ふれあい牧場では預託放牧事業を実施しています。

【預託期間】通年※冬季間舎飼(11月上旬から5月上旬)

【料 金】乳用牛300円、肉用牛270円、めん羊100円(いずれも1頭あたり1日分の料金です。)※冬季間舎飼飼料代別途かかります。

【預託対象】市内に住所を有した方が所有又は飼育するものに限ります。また、牛の場合は、概ね生後10ヶ月以上経過し悪癖のない未経産牛の雌牛が対象となります。

【預託条件】家畜共済に加入していること。家畜保健衛生所で行う放牧前検査に合格した家畜であること。

【受 付】放牧開始予定日の1ヶ月前(随時受付)



「市ではどんな農業振興事業を行っているの？」

農業振興アドバイザーから助言をいただいたり、福島大学や東京農工大学と連携事業を行ったりしています！

農業振興アドバイザー活動紹介

農業政策課 ☎924-2201

現在、本市が委嘱している農業振興アドバイザーをご紹介します。アドバイザーへの要望等がありましたらご連絡ください。



いまがわ なおと
今川 直人氏
アジア人材育成(有) 校長
(元JA全中総務部長)
専門 農産物生産・販売対策
(H30年度実績)
■農産物等海外輸出に係る助言



ねもと けいすけ
根本 圭介氏
東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
専門 生産・環境生物学、栽培学
(H30年度実績)
■インディカ系多収量米品種適性試験指導



みながわ よしつぐ
皆川 芳嗣氏
株式会社農林中金総合研究所 理事長
専門 農林業政策
(H30年度実績)
■森林整備計画に対する助言



みつもと たかつぐ
光本 孝次氏
帯広畜産大学 名誉教授
専門 畜産学
(H30年度実績)
■畜産農家の視察・助言

福島大学による公開授業

農業政策課 ☎924-2201

本市では、福島大学と連携して、震災からの復興と風評の払拭、地域農業の活性化を図るため、公開授業を開催しています。どなたでも無料で参加できます。

◆今年度は6月から3回に渡り、各分野の専門家が食と農に関する最前線の取組みについて講演する予定です。



スーパーアグリサイエンススクール&寺子屋を開催しました！

農業政策課 ☎924-2201

東京農工大学との連携事業の一環として、昨年度に引き続き小学生を対象としたスーパーアグリサイエンススクールを開催しました。子どもたちは実験や農作業を楽しみながら農業、科学に対する理解を深めることができた様子でした。

また、新しい試みで高校生を対象とした寺子屋を開催しました。講師にフロリダ大学教授カレン・カイナー氏を招き、南米アマゾンにおける農林業について御講演いただきました。英語による講演(逐次通訳あり)でしたが学生の皆さんは熱心に聞き入り質疑応答も活発に行われました。



クマの出没にご注意ください！！

春はクマが冬眠から目覚め、食べ物を求めて活発に行動します。遭遇する危険性が高まりますので、山に入る際は注意しましょう。

園芸畜産振興課 ☎924-3761

「市場って一般人も行っているの？」

朝市やご家族で楽しめるイベントもあります。また、市場食堂は誰でも利用できます。ぜひ一度お越しください！

市場の朝市

朝市実行委員会 ☎962-9976

郡山市総合地方卸売市場では、市場の活性化と農産物等の消費拡大を図るため、毎月第4日曜日(12月は第3日曜日)に「市場の朝市」を開催しています。

毎回約5千人の方が市内外から訪れ、新鮮な野菜や果物、魚介類、水産加工品、生花等を買求める人々で賑わっています。

ぜひ、ご来場ください。



夏休み親子市場たんけん隊 (7月の「市場の朝市」に開催予定)

市場管理事務所 ☎961-1140

小学生とその保護者を対象に、セリの見学やマグロが解体される様子などの活気ある早朝の市場を体験することにより、市場の役割について理解を深めて頂いています。

市場料理教室 (毎年12月～3月頃開催)

市場管理事務所 ☎961-1140

市場についての理解を得るため、市場で流通している魚介類や野菜等を材料に、各回違うテーマで料理教室を実施しています。

(平成30年度 第1回:親子で料理づくり、第2回:魚の捌き方講習)



農作業中の事故にご注意ください!!

これから、本格的な農作業の時期となり、農機具等を使う機会が多くなります。県内では毎年約10件の農作業死亡事故が発生しており、市内でも過去に耕うん機に巻き込まれる事故が発生しております。

春の農繁期を迎える前に作業を見直し、死亡事故ゼロを目指しましょう！

●作業計画を立て、余裕を持って作業しましょう！

●無理なほ場への侵入、畔越えはやめましょう！

●機械の点検・清掃時はエンジンを切りましょう！

園芸畜産振興課 ☎924-3761

「地域の将来についてみんなで話し合いたい」「みんなで草刈、水路の泥上げとかやってるよ」

そんな地域の取り組みを支援します！



「人・農地プラン」の作成・見直しについて

農業政策課 ☎924-2201

「人・農地プラン」とは、地域農業の基礎となる人と農地の問題を解決していくために、地域における話し合いを通じて作成する「未来の設計図」です。

プランが検討会を経て決定され、事業要件に合致すれば各種事業の対象になる場合があります。

ご要望のある地域・集落で随時説明会を開催しますので、農業政策課までご相談ください。



多面的機能支払制度を活用して、農地等の保全に御協力ください

農地課 ☎924-3921

農地法面の草刈り、水路の泥上げ、施設（水路・農道等）の軽微な補修や環境保全のための共同活動（植栽等）を支援する「多面的機能支払制度」があります。

地域で組織を設立し事業計画を作成していただき、その計画に基づいて地域の環境保全活動に参加される方への日当などに対し補助金が交付されます。



中山間地域等直接支払交付金事業

農業政策課 ☎924-2201

農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）を締結し、それにしたがって農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する仕組みです。

※制度の対象となるのはいくつかの要件（指定地域である、農振農用地区域である、傾斜がある等）を満たす農用地です。詳しくは農業政策課にお問合せください。



現在、郡山市内で34集落がこの制度に取り組んでいます。
中田町の下枝第2集落の代表鈴木利勝さんにお話を伺いました。

中山間直接支払交付金を活用して、農道・遊休農地の草刈り、水路の泥上げなどを行っています。この制度に取り組んでいなかったら農道、農地をいまのようにきれいに保つのは難しかったと思います。

また、取組活動そのものが地域のコミュニティの場になっているため、地域にまとまりが出ています。例えば、遊休農地を活用してみんなでソバを作り、それを振舞うための交流会を開いたり、みんなで花の植付けを行ったりしています。花の植付けは体の不自由な方でも参加でき、みんなで集まって作業できることがうれしいと好評です。



郡山市産の野生きのこ・
山菜類は出荷販売が
できません。

野生きのこや、野生のたらのめ、野生のうるい、こしあぶら、たけのこ、ごごみ、ぜんまいの山菜類については、国から出荷制限等が指示されていますので、出荷、販売をしないでください。

林業振興課 ☎924-2231

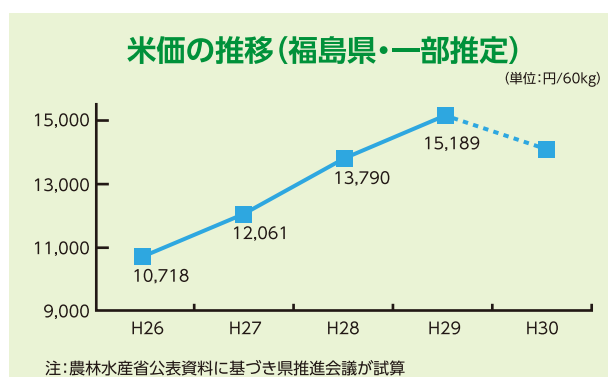
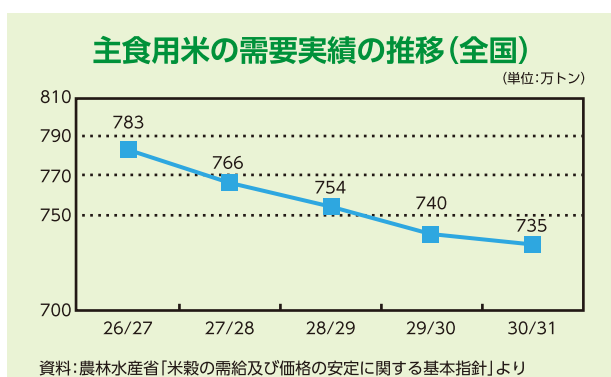
消費ニーズに応じた米づくりを！

農業政策課 ☎924-2201

平成30年産から、国による生産数量目標の配分が廃止となりましたが、主食用米の生産調整が不要になったわけではありません。ご存知のとおり、人口減少や少子高齢化に伴い年間の消費量は今後、毎年10万トンペースで減少することが予測され、こうした状況の中で、「自分一人ぐらいなら大丈夫」と皆様おひとりお一人が主食用米を作られるだけ作ってしまうと、米価が下落することは言うまでもありません。

そのため、平成31年産以降も、県・JA中央会・米の集荷業者団体等で構成する福島県水田農業産地づくり対策等推進会議では、市町村の地域協議会ごとに、生産数量の目安を提示し、その目安を郡山市農業再生協議会も農業者の皆様へ提示しましたので、今後も消費ニーズに応じた米の生産にご協力をお願いします。

また、国の支援策「経営所得安定対策制度」の交付金を申請する方は、必ず「営農計画書」及び「申請書等」を定められた期限内に提出し、加入手続きをしてください。



【平成31年度 経営所得安定対策等の概要】

① 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラン対策)

- (1) 交付対象者: 認定農業者、集落営農、認定新規就農者
- (2) 交付内容: 米・麦・大豆の販売収入が標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金と農業者の積立金で補填します。

② 水田活用の直接支払交付金 ※対象作物等は農業政策課へお問い合わせください。

- (1) 交付対象者: 水田で出荷・販売を目的に対象作物を生産(耕作)する販売農家・集落営農
- (2) 支援内容: ① 戦略作物助成: 戦略作物の生産に対して支払います。
② 産地交付金: 戦略作物の生産性向上等の取り組みや地域振興作物の生産に対して支払います。

③ 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

- (1) 交付対象者: 認定農業者、集落営農、認定新規就農者
- (2) 支援内容: ① 数量払: 麦、大豆、そば、なたねの当年産の出荷・販売数量に対して支払います。
※未検査、規格外品は交付対象外です。
② 面積払: ①の内金として、当年産の生産面積に基づき交付します。

塩化カリの施用を平成31年産米もお願いします

園芸畜産振興課 ☎924-3761

水稲が放射性セシウムを吸収するのを抑制するためには、十分なカリ成分が土壤中に存在することが必要です。

水田10a当たり20kgの塩化カリを全水稲農家へ無償で配布いたしますので、平成31年産米の安全を確保するため、配布された肥料は基肥として必ず施用しましょう。

お知らせ

新たな森林管理システムによる林業経営の集積・集約化について

林業振興課 ☎924-2231

気候変動等への対応に必要な温室効果ガスの森林吸収量の確保や、土砂災害防止、水源涵養等の森林の公益的機能を発揮させるため、森林経営管理法に基づく林業経営の集積・集約化により、林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図ります。なお、平成31年度は森林所有者への意向調査を行う予定ですので御協力をお願いします。

森林経営管理法(平成31年4月1日施行)による新たな森林管理システム

林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立のため、新たな森林管理システムとして、市町村を介して小規模零細な森林所有者の経営を意欲と能力のある林業経営者につなぐことで林業経営の集積・集約化を図る仕組みを構築。

郡山農振地域の除外受付再開のお知らせ

農業政策課 ☎924-2201

農業用倉庫や分家住宅の建築など農地転用等をする場合は、手続が必要です。郡山農業振興地域整備計画の総合見直しに伴い停止していた除外受付を4月から再開します。

- 事前相談は随時行っており、受付は年3回(4月末日、8月末日、12月28日)の締切を設けております。※締切日が土日祝日に当たる場合は、その前日となります。
- 変更決定までの期間は、重要変更(除外)約6ヶ月、軽微な変更(用途区分の変更)約3ヶ月となります。

平成31年3月1日から郡山市のメールアドレスが変更になりました

変更前 *****@city.koriyama.fukushima.jp

変更後 *****@city.koriyama.lg.jp

◆農業政策課 ☎924-2201

◆園芸畜産振興課 ☎924-3761

◆総合地方卸売市場管理事務所 大槻町向原 ☎961-1140

◆園芸振興センター 逢瀬町多田野

◆農地課 ☎924-3921

◆林業振興課 ☎924-2231

☎957-2880

郡山市農政だより 第36号(平成31年4月)

編集発行:郡山市農林部農業政策課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23-7
TEL.024-924-2201 FAX.024-938-3150

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。植物油インキを使用して
印刷しています。

紙へリサイクル可

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。